

広報 肱川

1983 12月



No. 9



とじて保存しましょう。

本年度産米・約8,000袋(240t)を集荷

今年も11月18日から、肱川農協本所集荷所と大谷事業所で昭和58年産米の集荷が行われました。好天に恵まれた今年の米は品質もよく、1等米が65%を越える好成績。農家の人達もホット一息。(昨年の1等米率は49%でした。)

今月号の主な内容

- ◆肱川中に林野庁長官賞……2ページ
- ◆力をあわせて50年(合同金婚式) 3ページ
- ◆少しの酒でも死亡事故に…4ページ
- ◆NHKロビー®肱川町展、終る 5ページ
- ◆年末特別貯蓄運動推進はじまる 6ページ
- ◆栗出荷完了す……7ページ
- ◆雇用保険不正受給防止啓発について 8ページ
- ◆稲わら等、土壌施用の効用…9ページ
- ◆充実した青春を送ろう……10ページ
- ◆町内ホノ木を考える……11ページ
- ◆長年の活動に感謝状・大谷文楽保存会 12ページ
- ◆岩谷生産学級……13ページ
- ◆お知らせ……14ページ

町民のうごき

人口 3,895人 (-10)
 男 1,911人 (-5)
 女 1,984人 (-5)
 世帯数 1,073世帯 (-2)

(昭和58年11月30日現在)

野鳥保護活動が認められ 肱川中に林野庁長官賞

鳥獣保護実績発表会



林野庁長官賞と高倉さん

全国鳥獣保護実績発表大会が十一月二十一日東京の環境庁で開かれました。

この大会は、小中学校や高校、一般のかたがたが行っている野生の鳥獣に対する保護活動の様子やその成果、そしてその原動力となっている愛鳥思想を普及させるための方策や観察・調査といった具体的な実践活動の成果を持ち寄り発表するもので、昭和四十一年に始まり今年で第十八回になります。

巣状況調査を発表しました。活動の起こりが自然発生的で、しかも、発表態度が誠実で素朴だったのが評価され、林野庁長官賞を受賞したものです。

肱中伝統行事の一つに卒業記念の巣箱かけがあります。初め

愛鳥・愛林の精神を養い 豊かな郷土づくりを

☆☆☆肱川中学校☆☆☆

の成績を環境庁で発表するようになった。このことは、本校にとりまして大変光栄であり、あらためて実

日本鳥類保護連盟より、そ

大谷の御在所の森へかけています。

このたび、

形で、経済的負担を組合の方でして頂き、

和五十三年から町の森林組合の事業とタイアップした

は学校の上の森へかけてい

感謝と責任と不安を抱きながら、八月に移転して来たばかりという環境庁のある中央合同庁舎の新築の講堂に入って、

出番を待ちながら他校のすばらしい発表を聞きました。

会場には、四十二校の中から第一次審査で二十一校選ばれ、更に第二次審査をパスした十校が集まったわけです。そして、小学校六校、中学校三校、高校一校が質問時間も含めて十五分ずつ順次発表しました。本校は中学校の最終番で九番目。「鳥声響く御在所の森」と題して三年生の高倉真由美さんが発表しましたが、大変よく落着いて一句のミスも無く、見事な発表態度で無事大任を果たしてくれました。



御在所自然の森を「野鳥の楽園に……」

発表内容の紹介はスペースがありませんので、他校の発表や審査員からの指導の中から大変参考になったことを数点挙げてみます。

- 水辺のテグスくずが野鳥の命取りになる。(発表)
- 透明な窓ガラスによる落鳥防止には、カーテンで不透化する
- 少ないデータだけでの類推はいけない。(指導)
- 観察や調査に当っては目的をはっきりさせて取り組まねば

成果があがりにくい。(指導) なお、本校の課題としては、次の二点が挙げられました。

- 一、巣箱かけの効果の分析方法の改善
- 二、野鳥運動の拡大

今後は更に研究を重ね、確信のもてる、しかも発展性のある活動にしてゆきたいと考えております。

集音マイク

日本ふるさと塾主宰森森茂裕氏が「手づくりのふるさと」と題して、町づくりに成功した旭川市・池田町・富良野市・野沢温泉村・宮崎県など具体的事例を紹介しながら二時間半にわたり講演。

どこにも共通する点として、

- 一、町づくりは、その前に熱心な人づくりが行われている。
- 二、一つのことをやろうと思えば十年以上はかかる。
- 三、若者が立ち上るような町、若者を立ち上らせるような町でないといはよくならない。
- 四、一つの産業だけにたよらず、産業と産業の掛け算を考えなければならぬ。
- 五、情報選取集能力が大切。現代の情報とは、どこに行っても同じ量、同じ速さ、同じ質で入ってくるが、いかに速く入っても重要なものは、直接関係のない違った情報を自分はどう置きかえられるかという能力である。
- 六、新しい観光に着目する。観光はよそ人ばかりのことより、地元が自信をもち、自慢できるものを育てたい。物でないもの(人情・心)が貴重。

と町づくりの基本を述べられた。

「私が肱川という大きな池へ石を投げた波紋を広げて下さい。町というのは、ふるさといふのは、子どもや孫に伝える最大の贈り物です。」

(一) 文化講演会

力をあわせて50年 晴れやか9組が金婚式

肱川町恒例の五十八年度合同金婚式が、十一月十五日、町公民館で行われました。

この金婚式は今年で八回目を迎え、今回は九組の力があがたが該当され、厳粛な記念式を町主催で行い、九組夫妻の結婚五十周年が祝



記念撮影などを行い、喜びや苦しみの五十年を振り返り、その長寿を喜び合っていました。

人と生れて、結婚式を挙げない人はほとんどいませんし、結婚そのものは別に珍らしいことではありませんが、いかに平均寿命が延びたとはいえ、五十回も結婚記念を迎えるということ

は、やはり容易なことではありません。

今年度、めでたく金婚式を迎えられたかたは次のとおりです。

部 落	氏 名	氏 名	氏 名
大 和	東 琢	琢 シ	雄カ
肱 栄	堀 荒	荒 シ	太郎カ
嘉 城	中 岡	義 キ	信子ヨ
中 居 谷	高 橋	忠 ナ	雄コ
広 常	清 水	福 政	督子
大 平	竹 本	小 朝	平子
久 保	中 塚	芳 芳	則子
中 津	岡 山	熊 千	男リ
上鹿野川	兵 頭	武 武	敏コ

仲のよいご夫婦、人生の苦勞を共にし、お互い助け合い、い

たわり合ってきた確かさをしみじみと味わっていただきたいと思います。

「どちらかと言えば苦しかったことの多い五十年でしたが、この今の喜びを、さらに力を合せて地域のために頑張りたい」と話していました。

今年もそろって

明るいお正月を

「歳末募金運動」

「みんなそろって明るいお正月を」をスローガンに、今年も恒例の「歳末たすけあい募金運動」が十二月いっぱい実施されます。

私達は、日頃健康な時はその幸せを余り感じないものですが生まれながらにして病気や肢体不自由な人達・ねたきりの人・低所得者・母子家庭・長期の療養者・施設入所者・独居老人等福祉に欠ける人々が身のまわりにたくさんいます。

皆さんから寄せられる歳末募金は、本年度末までに次の方に配分し、皆さんの真心をお伝えすることにしています。

◎長期療養をしている人



- ◎施設へ入所している人
 - ◎ねたきりの人
 - ◎低所得で生活に困っている人
 - ◎お世話になっている施設
- 私達は、これらのかたがたが苦境に負けず、強く生きていただくために、多くの皆さんの励ましを送りたいと思います。
- 皆さんそろって明るいお正月を迎えられるように、広い人間愛の立場に立って、援護活動を推進しようではありませんか。

山内 大志くん(月野尾)

57・9・8生まれ(1歳2か月)



お父さん 正志さん(29歳)
お母さん 眞理さん(25歳)

名前は、お父さんの一字をとったのと、大きく羽ばたいてほしいという願いをこめて名付けました。玄関に自分の靴が置いてあると、それを指し、外へ出たいと訴えます。近くに友達がいらないのが悩みの種です。

将来は元気で素直に育ってほしいと願っています。

わが家のアト礼

井脇 清美ちゃん(瓜生谷)

57・10・5生まれ(1歳1か月)



お父さん 俊久さん(29歳)
お母さん 弘子さん(23歳)

名前は、電話帳から選んで名付けました。一人歩きも始め、とても活発的です。部落一のわんぱく娘になるのではないかと今から覚悟しています。が、将来が楽しみです。

将来は、元気で素直に育ってほしいと願っています。

少しの酒でも死亡事故に

危険な飲酒運転の自己弁護

今年の一月〜八月に、全国で起きた飲酒運転による死亡事故は五百二十一件。スピード違反(千三百三十一件)に次いで二番目に多く、相変わらず「飲酒運転」が後を断ちません。年末年始は、忘年会や新年会が続いて、酒を呑む機会がどうしても多くなります。ドライバーの皆さん、「乗るなら飲むな・飲んだら乗るな」を合言葉に、「安全運転を心がけてください」。



アルコールは

体の機能を低下させる

飲酒運転を犯したドライバーの「自己弁護」——その主なものは次のとおりです。

- ①あまり酔っていないと思った
- ②酔った勢いで
- ③ひと休みして酔いがさめたと

思った

- ④翌日の仕事に車が必要だから
- ⑤今まで飲酒運転で捕まったことがなかったから

「こういつた言い訳をすること自体、アルコールの人体に与え

る影響を理解していないといつていいでしょう。

酒を呑むと、体の働きには次のような変化が見られます。

第一に、視覚の働きが鈍くなり、視野が狭くなります。

第二に大脳の働きが低下して判断力が鈍り、自制心も弱まってきます。(酒を飲むと、運転の腕がさえるというのは、アルコールによって、大脳が麻痺したために起こる錯覚で、運動機能はふだんよりもずっと低下しています)

さらに、集中力が鈍ったり、精神的にも不安定になるなど、酒が人体に及ぼす影響は、車の運転にとって好ましくないものばかりです。

交通安全

無事故で年末

笑顔で年始

58.12.21 ~ 59.1.10

へラブナの稚魚放流 鹿野川湖

十一月十日、ジャンボへラブナで有名な鹿野川湖に今年もへラブナの稚魚約八千五百匹(約一トン)が放流されました。

これは肱川上流漁協・野村町・

肱川町が昭和五十五年から継続

して実施しているものです。こ

の稚魚は、高松市の淡水養魚場

で育てられたもので、体長は約

二十センチ前後に成長しており

肱川上流漁協役員はじめ、菅野

重吉監視員、町職員の手によっ

て次々と湖に放流されました。

この湖のへラブナは、鹿野川



早く大きくなってネ……

ダムが完成した頃に大洲市在住の方が放流されたのが始まりと言われ、以後全国津々浦々から釣客が訪れていましたが、昭和五十年頃の遊漁者八百人を境に年々減少しはじめました。

このため、同漁協等では四年前から放流を行った結果、昨年あたりから大物級(四十センチ)も釣れはじめたという郎報も届いています。

祈

郵便局たより

◎便利な小包箱新発売

お歳暮・新米・おもち・ほし柿・椎茸・ユズなど郷土の香りを送るのに、とても便利な小包タンボール箱(ゆうパック)を新発売好評を得ています。

Lサイズ一五〇円、M一一〇円、S八〇円で、簡単に組立てられ、内袋やセロテープもついています。送られる内容品だけご用意くださいれば、

◎年末始の窓口取扱時間

郵便の窓口は、一月二九日から三日までは平常どおり九時から一七時まで取扱います。貯金・保険の窓口は、一月三十一日は正午まで。一月一日から三日までは休ませていただきます。

郵便の配達は、一月二五日、一月一日は日曜日でも行いますが、一月二日は休ませていただきます。

一口医学

フグのおいしい季節になります。「フグは食いたし、命は惜しし」といわれた昔と違って、今は調理資格を持った専門店で食べれば安全です。中毒を起こすのは誤食や素人調理などで手当てが遅れると命を落とすことになりかねません。

フグの毒(テトラドトキシン)は肝臓と卵巣に集中していて、知覚や運動の神経をしばれさせる働きがあります。フグを食べて二〜三時間以内、早いときには食後早々に舌や唇・指先などにしびれがきた

ふぐ中毒

ら、中毒の初期症状と疑ってまず吐かせること。

しかし、フグ中毒患者の多くは酒を飲んだりしてしびれ等に気づかず、手足が動かない、呼吸が苦しいといった第二期症状になってあわてることになりがちです。

この段階では、すでに体内に毒素がまわっていますから吐かせても効果はありません。一刻も早く人工呼吸器を備えた病院へ行くこと。この間呼吸が止まったら人工呼吸をし救急車を待ちます。人工呼吸はあきらめず根気よく続けること。

好評のうちに閉幕

NHKロビー「肱川町展」

NHKのご好意により、十一月二十三日から、二十八日まで六日間、松山市堀之内NHKロビーで肱川町展が開かれました。NHKでは趣味の作品展など数多くの展示会を開かれていますが、市町村を紹介するのは初めてだそうです。

そこで肱川町では、他の市町村では見られない、肱川ならではの資料を出すよう努めました。が、スペースの関係で展示資料は百三十点にとどめました。

まず農業資料館では三十万年前の鹿野川原人唐岩谷遺跡の資料の数々・縄文時代の長瀬・馬場の成道跡の矢鏃等、又先人達の生活の跡を物語る民具やいろいろ



のある茶の間の再現などとあわせて、分厚いかやぶきの民家や四季の変化に富んだふるさとの町を写真・パネルで紹介しました。郷土芸能として伝統を守り続けている大谷文楽では奥州安達

の原三段目袖萩祭文の場をかざり付けると共に人形頭二十数体を展示しました。収穫の秋にふさわしい祭り用具としては祭りの花形である牛鬼と小藪地区に伝わる六鹿踊りの鹿を正装して展示しました。

創作館では日頃活動されているお年寄りの創作品の中から、竹細工・わら細工をはじめ、つりまわり・ポトル人形など、二十数点を展示させていただきました。

特産品コーナーには、肱川を代表する森林組合の乾しいたけとしいたけの原木、出荷最盛期であるゆず、農協の加工品、商工会から清酒・菓子及び切木炭などを展示し広く宣伝したところ。です。

ふだんは広いロビーが狭くなる程、資料でいっぱいになり、今までのロビー展とはちよっと変わった感じだったのでないでしょうか。

期間中には約三千人の参観人がおとずれ、みなさんには大変



よろこばれました。資料出品にあたっては多くの方々に大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。

薬草のいろいろ

(23)

今月は「ウド」を紹介いたします。

野山に自生し、また食用として栽培されており、高さは1〜2mに伸びます。栽培されているものをウド、野山に自生しているものを山ウドと呼ばれている。違った品種のように思われますが同じものです。ただ香りや風味はやはり野生種の方がよい。



ウド(ウコギ科)

薬用には葉と根茎が使われています。

採取時期と調理法
花時(8月〜9月)の葉を採取し陰干しにする。茎葉全草(10月下旬)を刈り取り陰干しにして寸切にする。根茎は秋に掘りとり、水洗いしてから、薄く切片状にして、初め3〜4日は日干し、その後は風通しのよい所で陰干しして保存する。

薬用と用い方

①健胃剤(腹痛・胃カイヤウ・下痢)に葉の陰干したものを1日量10〜15gを水600ccで半量まで煎じ、3回に分けて飲む。②アレルギー性・風邪を引きやすい方に茎葉全草陰干したものを、アザミ茎葉陰干したものとミカンの皮を干したものの同量に合わせタオル二つ折りにして袋をつくり、それに一杯入れて浴材に利用するとよい。③頭痛・めまい・歯痛に、よく乾燥した根茎を、1日15g、水400ccで半量にまで煎じて、3回に分けて服用する。食前、食後どちらに飲んでもよい。

70歳の誕生日がきたら 老人保健医療受給手続きを

老人保健の医療は、七十歳の誕生日の属する月の翌月から開始されます。ただし、これらの日が、月の初日(二日)であるときは、その月から開始されます。七十歳の誕生日を迎えられた方は、すぐに役場町民課へ、健康保険証・印鑑を持参の上、受

給手続きをして下さい。

なお、五十八年一月二日から法律の改正により、医療費の一部負担金を医療機関の窓口で支払っていただくことになっております。

【外 来】	一月 四〇〇円
【入 院】	一日 三〇〇円 (二ヶ月分のみ)

(〇一医療機関ごと)
(〇総合病院は診療科ごと)



県下農協では六十年に愛媛県農協貯金一兆円をめざして、只今五十八年末特別貯蓄運動が進められております。

金融構造が大きく変化する極めて厳しい情勢の中で、肱川農協でも、年末貯金必達目標三十億円、ワンアツプ努力目標三十億三千万円にむかつて推進を行っており、昨年に引き続き見事達成出来るよう、皆さんの格別のご協力をお願い申し上げます。

- 農協貯金で貯蓄計画一直線。
 - 地域とともに歩む農協
 - くらしを守る農協貯金
 - 農協が幸せづくりのお手伝い
- 年末貯金は、最も有利な農協期日指定定期貯金が今がチャンス。

来年一月四日から貯金金利が定期貯金で〇・二五%、定期積金〇・二〇%、普通貯金〇・二五%引下げに決定しました。事業所別年末貯金目標は次の通り。

年末特別貯蓄運動 推進はじまる

年末貯金事業所別目標 (単位：万円)

事業所別	年末目標	ワンアツプ目標
本所	165,200	166,852
宇和川	57,000	57,570
大谷	51,600	52,116
予子林	26,200	26,462
合計	300,000	303,000

年来貯蓄推進に合せて、協同カードの普及推進特別運動も実施して居ります。

種別	農協貯金利率
定期(2年)	5.85%
定期(1年)	5.60
定期(6か月)	4.85
定期(3か月)	3.60
普通貯金	1.50
定期積金	3.50

現金を持ち歩かなくとも協同カードがあれば、協同カード加入店でお買物やその他広くご利用が出来て、大変便利な仕組になっており、重宝がられています。会員申込手続は簡単に出来ます。農協貯金窓口にご相談下さい。年末貯金総ざらいは十二月三十日と三十一日に全職員が訪問致します。よろしくお願ひします。

来年一月四日から実施される新しい貯金金利は次の通り。



58年度産米出荷始まる

去る十一月十八日、大谷地区を皮切りに予約米の出荷が始まりました。

今年度は、冷害・早魃と言う天候で不作だろうと見込まれておりましたが、夏の早天続きが良かったのか出来ばえは、まずまずの収穫だったようです。

今年度の予約数量は肱川全地区で、八、〇七三袋ですが収穫の状況を見るとそれを上まわる予約外の申込みが多分に有るようです。

等級の割合を見ると、一等米が全体の六五%、二等米が三二%、三等米が三%程度の割合で等級が格付がされて居るようです。

予約外と、くず米も全量出荷され検査を受けますようお願いを致します。

御案内

第八回農機具展示即売会

- 一、日時 昭和五十九年一月二十日・一月二十一日の二日間(九時~五時)
- 二、場所 農機具センターと農産加工場内庭
- 三、展示機種 トラクターから小物品までの各種農機具
- 四、十二月・一月の二か月間、展示会特別価格。

以上の計画で準備を進めております。是非お出かけ下さいませよう御案内を申し上げます。



(7) 農林だより

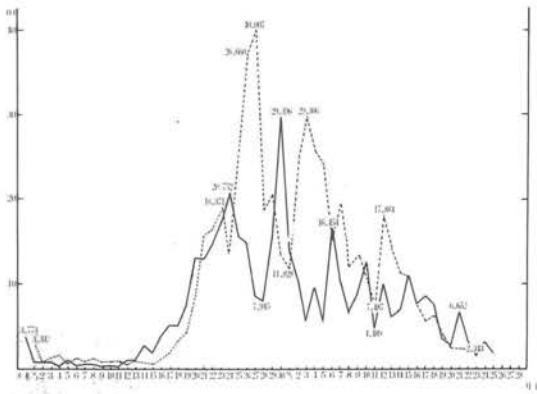
〔表1〕 〇くり.58年産販売結果 単位: t,円,%

項目	58年産		57年産		前年対比	
	数量	単価	数量	単価	数量	単価
仕向						
市販	3,701	382	4,760	361	78	106
加工	1,040	302	1,362	305	76	99
合計	4,741	365	6,122	348	77	105

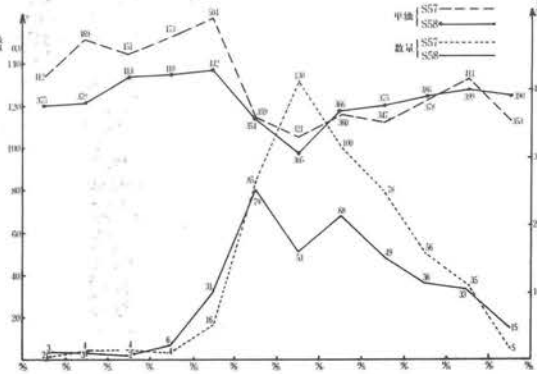
〔表2〕 支部出荷実績表

共支部	本年度計画	本年度実績	前年度実績	(%) A対	(%) B対	件数
	kg	kg	kg			
鹿野川	64,730	29,989.5	51,738.0	46.3	58.0	46
小畷	88,360	49,439.2	70,634.0	56.0	70.0	60
中野	24,040	14,966.0	19,216.0	62.2	78.0	25
大和・肥栄	80,160	56,717.5	63,990.0	70.8	88.6	39
岩谷	41,460	16,661.8	33,084.0	40.2	50.4	36
中津	11,210	6,444.4	8,957.0	57.5	71.9	16
宇和川	140,460	99,960.1	112,197.0	71.2	89.1	157
大谷	113,680	77,056.8	90,832.0	68.8	84.8	130
子子林	85,900	43,247.0	68,620.0	50.3	63.0	96
その他	0	0	13,732.0			0
	650,000	394,482.3	533,000.0	60.7	74.0	605

〔表3〕 58年産〇くり日別集荷量推移 (鹿川農協栗選果場への集荷分)



〔表4〕 58年産栗. 鹿川農協扱市場出荷数量, 単価推移表



〔表5〕 昭和58年産加工栗価格

期別	階級	2L	L	M
9月21日~9月24日		370	280	195
9月25日~9月27日		345	265	175
9月28日~9月30日		380	305	210
10月1日~10月3日		380	305	210

〔表6〕 階級別出荷数量, 単価表

階級	3L		2L		L		M		S		SS他		合計	
	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価	数量	単価
数量	81	478	144	403	105	311	38	238	10	155	3	163	381	369
%	21		38		28		10		3				100	

(注) S S 他は、出荷当初の〇込み、出荷を含む。

栗出荷完了す

昭和五十八年産の〇くりは、共販十六農協で七千二百六十三tの出荷計画を積みあげ、系統機関の連携強化・重点市場中心販売・消費地における宣伝・出荷調整による価格維持対策を基本方針として八月二十二日より共販を開始しました。

市販〇くりについては、早生種で前年比二百三十%と量的に増加し順調な出荷となりましたが、日を追うにつれ干パツの影響が表われ樹勢の弱った樹からの落果が多く、結局、当初計画の六十五%四千七百四十一tの出荷に終わりました。

昭和三十八年産愛媛県経済連の九月下旬の出荷が前年比七十五%と少なかったこと、主力市場の競合産地が凶作に終わったこと

扱いは表(一)の通りです。品質面では、干パツの影響から早生種については未熟果・シナピ果・実タンソ果が極めて多く、中生・晩生種についても、実タンソ果・光沢不良果等共販開始以来最悪となりました。

価格面では、早生種は低品質となり十%安値となりましたが、ピーク時の九月下旬の出荷が前年比七十五%と少なかったこと、主力市場の競合産地が凶作に終わったこと

から最終市販価格は三百八十二円と前年を6%上まわりました。加工〇くりについては、数量は減少したが、価格はほぼ前年並に



を終了しました。

我鹿川農協では、八月二十三日の初荷を皮切りに京阪神及び東京方面への市場出荷を開始しました。

今年度当初目標を六百五十tに置き、取扱いをした結果、表(二)に見られるような出荷状況となり、生産者の皆様には、多大なご協力を頂きました。

出荷量では、当初目標の六十四%、前年度実績対比の七十四%と、干パツと実タンソ病の発生の影響を受け、大巾な減少となりました。

なお、表(三)に、栗選果場へ出荷されました〇くりの日別の出荷量の推移を、表(四)に市場出荷数量及び単価の推移を、表(五)に加工用栗価格の推移を載せておりますのでご参照下さい。

出荷量三百八十一tの内訳を見ますと、市場出荷三百九t、加工場向け三十二t、缶詰向け三十二t、小売り他八tとなっています。

この内、市場向け他の計三百六十九tの階級別出荷数量・単価を表六に載せております。

以上の結果、出荷価格から必要経費等を差し引いた生産者支払い価格は、昨年同様kg当り二百八十五円となり、十一月十七日の栗同志会支部長会にて承認を受け、先日支払いとなりました。

今後の対策として、品質の向上と増収をめざし、各地区で間伐講習を計画しております。

出荷期間中、生産者の皆様には、大変お世話になりました。今後とも、ご協力のほど何卒よろしくお願い致します。



肱川土場木材相場表 (単位才当り：円)
第329回市 昭和58年11月17日 県森連市より

長さ	末口径	スギ	ヒノキ	マツ	その他
4 m	7cm下	本 354	本 354		松バルブ 長さ 2m 末口 6cm上 26円 雑バルブ 長さ 2m 末口 6cm上 24円
	8cm上	63	63		
	12cm上	70	137	18cm上 65	
	18cm上	79	144	24cm上 76	
	30cm上	137	266	30cm上 91	
3 m	7cm下	本 177	本 177		バリ材 材(松・杉・桧) 長さ 2m 末口 3~6cm 1本70円
	8cm上	39	46		
	11cm上	39	77		
	13cm(ニ)	74	123	18cm上 60	
	13cm(元)	81	207	24cm上 63	
2 m	7cm下	本 39	本 39		松ハリ材 16cm~22cm 3 m 60円 4 m 90円 5 m 93円 6 m 90円
	8cm上	21	21		
	16cm上	39	74	13cm上 24	
	30cm上	74	126	30cm上 24	
6 m	13cm(ニ)	88	214		
	13cm(元)	102	336		
特選	13cm(ニ)	137	249		
	13cm(元)	249	546		
足場	1 m当り	20~140円 尺当り 7~47円			
備考	松材は全般に好相場を持続する。杉材も柱材を中心にますますの様相。しかし、依然桧一般材は弱気配。				

肱川町森林組合乾椎茸相場表
1.市売日……昭和58年11月17日
1.販売数量……66ケース 897.1kg
1.数量内容及び平均単価 単位(円)

区分	香	信	ドンコ	特用バレ	コーコ	その他
数量(kg)	384.9			484.8		27.4
比率(%)	42.9			54.0		3.1
平均単価	7,400			6,280		4,650

1.銘柄別価格 単位(円)

名柄	単価	銘柄	単価
大厚	8,600	ドンコ小	7,640
中厚上	—	特用大葉	7,030
中厚並	8,410	大バレ	6,160
小厚	8,090	特用中葉	7,000
大ウス	7,680	中バレ	6,010
中ウス上	—	特用小葉	6,600
中ウス並	7,210	小バレ	5,830
小ウス	6,300	変形大	—
ジャミウス	6,200	変形小	—
ドンコ大	8,520	色落	4,650
ドンコ中	8,070	コーコ	—

南海放送	11月17日(木)	午前7時~8時の間	朝のホットラインの中で
	21日(月)	午前8時10分頃	8時のニュースとテレビ小説千春子の間
	21日(月)	午後8時50分頃	ザ・トップテンとニューススポットの間
	23日(水)	午後6時30分頃	なんかいワイドニュースとNNNジャストニュースの間
	25日(金)	午前8時10分頃	8時のニュースとテレビ小説千春子の間
	27日(日)	午前8時頃	あまから問答と明日の経営戦略の間
	29日(火)	午前8時10分頃	8時のニュースとテレビ小説千春子の間
	12月1日(木)	"	"
	3日(土)	午後7時頃	南海放送ニュースと青春はみだし刑事の間
	5日(月)	午後6時頃	RNBロータリーとなんかいワイドニュースの間
	7日(水)	"	"
	9日(金)	午前8時頃	朝のホットラインと8時のニュースの間
	11日(日)	午後10時30分頃	知られざる世界と水戸黄門の門 間
	13日(火)	午後6時55分頃	NNNジャストニュースと天気予報の間
	15日(木)	"	"
	15日(木)	午後9時頃	ニューススポットと南海放送ニュースの間
	17日(土)	午後10時頃	南海放送ニュースと世界まるごとHowマッチの間
	19日(月)	午後6時55分頃	NNNジャストニュースと天気予報の間
	21日(水)	午前7時~8時の間	朝のホットラインの中で
	23日(金)	午後6時55分頃	NNNジャストニュースと天気予報の間
	25日(日)	午前8時30分頃	明日の経営戦略と時事放談
	27日(火)	午後6時55分頃	NNNジャストニュースと天気予報の間
	29日(木)	午前7時~8時の間	朝のホットラインの中で

林家の力の結晶である浄財の効果ある使途第一弾として木材の消費拡大に向けてテレビ宣伝を別表により放映いたします。

しきを守る
1町歩100円運動
ご協力ありがとうございます

雇用保険不正受給防止啓発について

雇用保険制度の目的は、失業した労働者の生活の安定を図るとともに、求職活動を容易にする等、その就職を促進することにあります。

しかし最近では、不正受給事件が増加の傾向にあり、なかでも受給中に就職した人の不正申告によるものや、常用就職をしたことを届けずに失業給付の受給を続けているものが目立っています。安定所では、こういった不正受給を防止するため、ふだんから事業所を訪問していますが、更に皆様方の一層のご理解とご協力をいただくため、これらの調査をさらに強力に推し進めています。

雇用事業所の皆さんには、お忙しいなか御迷惑とは存じますが、御協力の程お願いします。また、雇用保険受給者の皆さん方には、受給中の正しい申告、特に、仕事(就職・就労・内職手伝い等)に従事した場合は収入の有無にかかわらず、正しく届け出るよう、あらためてこの機会にお願いします。

雇用保険・労働保険の問い合わせは、大洲公共職業安定所、肱川町森林組合・川上商工会で受付ます。お気がるにお出下さい。

大洲公共職業安定所長

稲わらの処理別・土壌施用の効用

(兵庫県農業総合センター：門野行男)

土壌有機物の効用		利 用 別		
		稲わら	堆 肥	焼 却
物 理 性	1、水分の吸収保持	○	◎	×
	2、土壌の膨軟性の保持	◎	◎	×
	3、分解の際発生する炭酸ガスで団粒構造の生成	◎	◎	×
	4、温熱吸収量の増加	○	○	◎
化 学 性	5、養分の吸収保持	○	◎	×
	6、養分を可給態で保持	○	◎	×
	7、養分の肥料的効果	○	◎	◎
	8、土壌反応の変化に対する緩衝能の増大	○	◎	×
生 物 性	9、有用微生物及び小動物の活動促進	○	◎	×

(注) ◎効用あり、○時間がかかるが効用あり、×効用なし
稲わらは、乾田または畑に施用した場合の効用を示した。

稲わら等 土壌施用の効用

土づくりのため、堆肥等有機物の施用は、欠くことが出来ないが、農村は人手不足から、稲わらのすき込みが逐年増加しています。稲わらの施用効果を、堆肥や焼却した場合と比較検討した結果は次のようです。稲わらを堆肥としたものが一番良く、これは田植え時に、施用しても支障ありません。稲わらは腐熟すれば、堆肥同等の効用があるが、腐熟にかなりの時間が掛るから稲収穫後なるべく早くすき込むと良い。稲わらの焼却は、土づくりに必要な有機物を焼却し、無機物が僅か残ります。しかも窒素は殆んど消失し、燐酸・加里は減量します。従って焼却だけは止めたいものです。むしろ、焼却するよりは、畜産農家と家畜ふんの交換をする方が得策です。

長田陸雄氏に 大日本蚕糸会養蚕功労賞



脇川町名荷谷の長田陸雄氏(73歳)が、十一月十五日、有楽町第一生命ホール(東京都)で大日本蚕糸会総裁常陸宮殿下、御臨席で挙行された表彰式で、養蚕功労賞を受賞されました。これは永年にわたり、地域養蚕の振興、とくに先進技術の導入、省力養蚕と多大の貢献されたことに対し表彰されたものです。今後共一層のご活躍をお祈りいたします。

食器の ポイント

◇食器洗いには
薄手のスポンジが衛生的
食器洗いに使うスポンジは、厚手のものを使っている方が多いのではないのでしょうか。洗剤をつけた時の泡だちがよくて、使いやすいものですが、一つだけ注意してほしいことがあります。厚手のスポンジは、その中心部分に、汚れた液や、食べ物のカスがたまって、とても不潔

になりやすいということです。使ったあとは、必ず残った洗剤をおとして、水を切ってかわかすように心がけましょう。またそのような手間をかけないために、薄手のものを使うことをおすすめします。

◇油污れは

小麦粉とタワシでOK
油污れのひどいなべや食器は小麦粉を大きじ一杯ふりかけてタワシでこすり、クリーム状になったところで水洗いすると、びっくりするほどヒカヒカになります。洗剤不用です。

1月の集配予定日

1月10日(火) 月野尾・小藪
1月11日(水) 中津・子子林
1月12日(木) 宇和川南
1月17日(火) 宇和川北
1月18日(水) 岩谷方面
1月19日(木) 大谷方面
1月24日(火) 月野尾・小藪
1月25日(水) 中津・子子林
1月26日(木) 宇和川南
1月31日(火) 宇和川北

1月 醤油配達予定日

1月13日(金) 小藪・岩谷
1月20日(金) 宇和川方面

1月 LPガス配達予定日

大谷・脇栄 4(火)12(水)
小藪・汗生 5(水)20(金)
子子林・大駒馬 9(月)24(火)
正山・中居谷 10(火)25(水)
月野尾・岩谷 17(火)30(月)
中津・小倉 18(火)

充実した青春を送ろう

青年団研修会

①お互いの心を結んで、仲間づくりの輪を広げよう。

②活動の中から、自分自身を高め、又仲間も高めよう。

③地域に根ざした活動を進め、ふるさとづくりの原動力となろう。

青年団活動には、大きくいってこの三つがあります。

青年団では、OBの方々とこのん談会や他の団体との交流会を行い、その中からお互いが、もう一度青年団の活動を考え直してみようという事で、研修会を計画し、十一月十七日に第一回目を実施しました。

五回計画しており、第一回目は、OBで、昭和四十五・六年に団長として活躍された森林組合の堀井参事さんを講師にお願いしました。

堀井さんは、二十歳から二十七八歳頃までの八年間、青年団活動を体験されています。

青年室は、公民館が建設される時、青年団活動の拠点としてどうしても設置してほしいという青年達が強くお願いして、実現したものです。青年室を上手に利用して、活動を盛り上げてほしい。



堀井さんを迎えて

青年団は、女性の団員がふえれば、自然と男性もふえてくる。そういう活動も進めてみるといい。昭和四十六年の演劇では、「昼めし」という女性団員だけのものをやり、最優秀を受けた。当時は、女性団員といえば車を持っていないかったので、男性団員が送り迎えを行い、実際に演劇に参加しない者もバックアップをおしまなかった。やはり、みんなで一つの事をやろうとする協力の気持ちが大切だと思う。同じ四十六年には、劇団「すわらじ」の公演も実施した。この時は、当日バスのストライキや雨になり、大変だった記憶がある。しかし、いろいろな所からの援助も

あり、無事に終了した。この時もやはり、みんなが一生懸命取りくんだ結果がよかったと思う。時には自分を捨てて、みんなのために協力をする事は大切です。

その頃、脇川ローイングクラブというボート部があり、青年団活動の一つとして取り組んでいたが、その中で、酒を半年間、断つという約束をしたことがある。本当に一滴も飲まなかった。仕事上や友達とのつき合いの中で、大変だったが実行した。それは、約束と決めた事は、守るのが本当であり、自分自身にとって納得がいく形にしたからである。

人生は、納得するまでやってあきらめるのならないが、中途半端で結論を出すのはよくない。

青年団の時期に、何のために生きるか、どう生きるかを考えてほしい。又、一生つき合える友達と一生使える丈夫な心と体をつくってほしい。つまり、人生の生活設計を立ててほしい。



楽しいふんいきで



ファインダー

私の、忘れられない思い出は、今から十六年前の高校卒業の春の事です。友達と九州へ自転車旅行をしました。卒業と同時に、何かをしてみようと考えたのです。一週間のアルバイトで得た二万円のお金を持って十二日間の自転車旅行でした。変速ギアのないボロ自転車、買ったばかりの寝袋、袋いっぱい乾パン、これが私の所持品でした。とても不安でした。一日目は、松山から八幡浜へ行き、フェリーで臼杵へ渡る計画でした。朝八時に松山を出て、難なく大洲へ、昼すぎに着きました。時間に余裕があったので喫茶店に

入り、三時頃、八幡浜へ向かいました。大洲から八幡浜はすぐそこですものね。しかし、何と、それが違ったのです。今の夜昼トンネルはなく、昔の道路ですから、砂利だらけで、自転車は思うように動きません。やっとの事で頂上になど降り着き、ペダルを踏まなくても動くと、喜んでいましたが、あいにく、台風の影響で、海風のすごい事、ペダルを踏まないとなりに降りないのです。夜七時頃、八幡浜に着き、フェリーに乗って臼杵へと行きました。二日目以降は、竹田市・阿蘇・熊本・荒尾市・八代・人吉温泉・小林・都城・宮崎・臼杵と、進んで行きました。毎日、朝六時から夕方四時まで、自転車に乗って、その後、駅のベンチで寝る毎日でした。でも、この十二日間の旅行で体験した事は、私の心の中に深く刻まれています。ペダルを踏むたびに、「くそ、負けるものか」と思い、途中、嫌になるのも我慢して、走り続け、目的地に着いた時のあの気持ち、これがすばらしいのです。そして、私は、その時、少し人間的に成長した様に思えたのです。この体験は、私のこれからの人生の糧になると信じ、私の子供にも話す事でしょう。

計を立ててほしい。忙しい忙しいとばかりいわず計画性を持って毎日過ごそう。と体験を通して、力強いお話しをしていただきました。又、学習は毎日の積み重ねが大切であり、こういう研修には、参加して自分を磨いてほしいといっておられました。第一回目は二十数名の参加でしたが、今後、二回三回と続きます。もっともっと大勢の青年の参加を待っております。「参加なくして効果なし」充実した青春を送りましょう。くわしくは、青年団か公民館へご連絡ください。

町内木ノ木を考える ② 【地名】

文化財保護審議会委員 赤岩 繁喜

○シワス

十二月野と書くのでここを知らない人は、北向きのジメジメした冬の間は寒い土地と思うかもしれない。現地は東向き暖い土地である。シワスは始めシワクノと名付けられたと思う。シワクノのシは清水・雪などは清水・雪などのシで水の意味があり、ワクは湧くで泉出る事、ノは野で、水の湧き出る所シワクノが長い間にシワスノとなり、十二月野と書いたのである。耕作農民、特に水稲を作る者にとって水は大切である。その昔ここに土着する時、陽当りと水には特に注意したのであろう。ヤナギノ



川や湧出する水を利用して、水田を開発したが、近年人口の増加により、さらに増反するようになって池がつくられ、今の水田が形成されたのであろう。

○コウトコ

下小藪の湯場付近をユバヒラともいうが、コウトコと昔から呼ばれてきた。コウトコは川床の意味で、川底の平地ということである。名荷谷にトゴノ地という所があるが同じ意味である。ユバヒラは温泉が出来てから発生した地名である。



湯場付近

○カゲウラ

中小藪の別名である。陽当りのよくない所という意味で、大谷の影地・日吉村のカギ山も同じ意味である。陽当りが悪いと認識しているのに、何故沢山の人々がこの傾斜地に集まり、住みはじめたのであろうか。人家の周囲はすべて畑地になっている。金肥のなかった時代には、田は遠くても仕方がないが、畑は



中小藪付近

施肥の都合上近くにある方がよいと考えられたのであろう。

新刊図書紹介

- えひめのふるさとこみち
愛媛県文化振興局
- 見える学力・見えない学力
岸本裕史
- 親業 新しい親子関係の創造
トマス・ゴードン
- 愛媛の地質
永井浩三
- 二つの祖国(上)
山崎豊子
- 二つの祖国(中)
"
- 二つの祖国(下)
"
- 日本の古典美 美術
川口政雄
- 愛媛年鑑
愛媛新聞社
- コーランの世界・シルクロード
陳舜臣・藤井秀夫
- 七人の子どもと
河内美舟
- 百姓はおもしろい
中島輝夫
- 啐啄
玉井通孝
- 日本人とまちづくり
萩原茂裕
- 日本は燃えているか
柳田邦男
- 絵でわかるコンピュータ
石田晴久
- コンピュータ用語の意味がわかる
石田晴久
- 辞典
石田晴久
- 誰にでもわかるマイコン入門
桑山義明

リレ随筆

<148>

和顔愛語



予子林 小田 斉

和顔愛語という名言がある。和かさをもった笑顔、それはだれもが持合せているが、万物の霊長たる人間だれしも和やかさを保ちたいと願うのです。現世の様に多忙な毎日を通す者にとって、そうばかりにはいかなないが、心掛次第で和顔も感じのよい言葉と思ふのです。先日も平常心は道と言ふ句を見て成ほどと考へさせられました。少しの事で腹を立てる様では平常心を保つ事は出来ない。や、もすると直ぐ腹立たしくなったりする。ことに虫のおりどころが悪いとなお更である。それこそ和顔愛語どころではない。幼少の頃の覚えに、腹立つ時は十を数えよ。十でおさまらねば二十三十と。短気は損気など腹を立てず平静を保つ事も大切であります。嫌な事、苦しい事、我慢するべき時それぞれとあると思います。徳川家康の遺訓に「人の一生は重荷を負って遠き道を行くが如し、急ぐべからず」と考へさせられる訓があります。やはりお互が人間として生れた以上少なくとも一日に第三者に對し七つ施しをせよと言われています。眼施・顔施・身施・言施・心施・床坐施・房会施、この七施だそうす。何れも大切な項目の一つ一つで人に対する真心や思やりの意味が充分含まれて居る様に思います。こう言った事も縁遠く成ったか、無視されたのか、青年の非行は増加の一途で憂慮される時、家庭も社会も大人自身、住みよい地域づくりを目ざし、先ず明るい家庭と健全をはかり、心身共に健全な成長と発展が見られる様、真剣に取り組んで行きたいものであります。次は、上鹿野川の山内清勝さんにお願ひします。

長年の活動に感謝状

大谷文楽保存会



拠点もできました。

去る十一月十五日松山市民会館で開催

された第二十五回愛媛県指定民俗文化財・文楽合同公演大会で、大谷文楽保存会が県伝統文化の発展に寄与してきた功績を認められ県指定文化財文楽保存協議会長から感謝状を受けました。

大谷文楽（松原重徳会長）は、昭和三十四年三月「松山市・伊予源之丞」、「明浜町・俵津文楽」、「三瓶町・朝日文楽」と共に県の文化財に指定されました。

これを記念して、文楽を広く一般に公開し、古典芸能への理解を深めて保存・伝承をはかろうと毎年秋の愛媛芸術祭参加行事として文楽合同公演大会を開いており、今年で二十五回を迎えました。

大谷文楽は毎回出演し県指定・四つの文楽の中で中心的な存在として県伝統文化の発展に大きな功



親業講座……

充実した活動で受賞

中野幼稚園PTA

祖先が、素朴な生活の中から、はぐくみ、つちかかってきたこの郷土芸能は、大谷地区で守り育てられ、生活の中に生き続けてきました。現在も、先輩の意志を継ぎ郷土の貴重な文化遺産を末長く守ろう

とする若者が育っており、大谷文楽は県指定・四つの文楽の重鎮として、関係各方面から大きな期待を寄せられております。なお、大谷文楽では、毎年桜の花が咲く頃に、大谷郷土文化保存伝習館で定期公演を開催しようとする構想をねっています。まず来年の第一回公演は、文楽の保存・伝承に貢献してこられた物故者の追善供養公演にしようという声が多くあがっています。この郷土が誇る、貴重な文化財の保存・伝承にご支援をお願いします。

十一月十八日に松山市で行われた県国公立幼稚園連合会主催のPTA大会で、中野幼稚園PTAが優良PTAとして表彰されました。中野幼稚園PTA（清水美和子会長）は、親業講座として母親学級、父親学級を実施するなど、積極的に研修につとめています。また親子スポーツ・もちつき大会・奉仕作業等、充実した活動を推進し、さらに八幡浜管内公立幼稚園PTA連合会事務局として、管内

出番です！お父さん・お母さん

⑪

◎親の役割

○家庭の中のレフェリーとしての父親
お父さんと遊ぶ経験が多い子供ほど幸せでしょうか。むしろめったにならなから、たまの日曜日にキヤッチボールの相手してもらえらるから、子供はうれしいのではないのでしょうか。父親は、子供にとって存在するだけで価値があります。「あれをしてやる、これをしてやる」と子供の要求に対応しつづける父親は、第二の母親ではありません。

◎家庭の運営

あう機会も多く、お互い傷つけあう場合も多いものです。母と子の感情的なトラブルが起こり、お互いに自分の感情をおさえられなくなつた時、理性的な態度で、レフェリー役として助言調停するべく登場してくのが父親です。

家庭は、家族の共同生活の場です。お母さんは、一家の主婦として、このような家庭の人間関係を調整し、家族がゆとりくつろげる雰囲気をつくるにはどうしたらよいか、子育てをどうするか、衣・食・住や家計の管理をどうするかなど、家庭の経営者としての責任を担っています。これは、愛情だけでできることではありません。主婦には、温い愛情とともに、創造的な頭脳が必要とされます。

全体のPTA研修の向上に努力してきました。

今年度からは、新たに保護者同士の連携をより強くするため、研修・文化・体育の専門部を設けました。一人一人が専門部委員となり、全員が参加する組織づくりを進めています。子供たちの仲間意識を育てるためには、まず親同士が手をとり合っていること、意欲的にとりくんでいます。就学前学習の重要性が強くいわれている今、受賞を機に、ますます組織を充実させ、よい子を育てる活動を期待しています。

家庭の日常生活は、ともすると惰性に流れ、マンネリズムにおちいりやすい。毎日の生活を当たり前のこととして、何の疑問ももたずに過ごしてしまうからです。家庭生活を新鮮に保つためには、日常生活のあらゆることに、「これでよいのだろうか」と疑問をもち、家庭生活をより楽しく、充実したものにするにはどうしたらよいか、その具体的な方法を工夫することが大切です。

個性ある農家に学ぶ

岩谷生産学級視察研修

岩谷生産学級では、十一月の学級課題を「個性ある農業経営に学ぶ」として、久万町畑野川の竹森農園を視察しました。

この視察には、学級生二十八人が参加しましたが、途中父二峰の栗園や四国八十八ヶ所の一つ大宝寺なども見学し楽しい一日バス研修となりました。

また、帰りのバスでは、見学の感想、農林業やふろさと問題に関する意見を全員が出しあって、意義のある研修会となりました。

ここに、視察をした竹森農園の経営のようすをお知らせしましょう。

——竹森英輔さんの説明から——
〔零細農業からの脱皮〕

私の家はもともと高知県の国道三十三号線から石鎚山の方へ少しはいた池川町という山村で代々焼畑農家で暮らしを立ててきた。昭和三十年頃、父（当時四十八



竹森さんの話を聞く学級生

歳）は、ある大学の先生から、「冷地の作物」と題する講演を聞いた。そして面河村に親類があることもあって、昭和三十三年のはじめ、わずかな土地を処分して、この久万町畑野川高原を選び移り住むこととなった。私は当時四歳であった。

父は、この高原が零下十五度にもなる寒冷地であることに着目したのである。

〔計画から実行へ〕

そもそもこの土地には、終戦直後五人の家族が入植していたが、電気も道路もなく、どうしようも

ない土地として去っていった。

父は当初一・五ヘクタールを百五十万円で買った。そして八十アールにたばこミヤセ大根を植えて大根は高知・松山方面へ出荷した。

昭和四十三年、たばこはやめることとし以後しばらく野菜に専念した。

四十八年、私が高校を卒業する年、がっちりとした十年計画を立てた。このとき本格的にリンゴをやることとし、三十アールに植え付け次第に拡大して行った。

四十五年より久万町の農地整備事業がはじまったが、それまでの十年あまり、父母は、クマザサをきり拓いての重労働の連続であった。

〔観光農園へ〕

私は高校時代から県外にも目を向けて農家の実習研修を行ってきた。当時の知事の目にもとまり、福島県よりよいリンゴ品種をとりよせてもらった。

五十年頃より次第に観光リンゴ園として売り出していた。今年で八年目をむかえ、現在二・五ヘクタールとなりシーズン中は客でこみ合う。今、物があまる時代ではあるが、しかし、産地を消費地に、来て楽しんでもらうような附加価値の工夫が大切。日本的な観光はなくならず、これからも発展する筈。

〔多角経営へ〕
私はリンゴのみならず、シイタケ・山菜・コンニャク・ぶどう・

イノシシ・キジ・ウシなど十二品目の農産物を手がけている。そして年間千二百人を雇用し、近隣の就労の場にもなった。

〔まごころをこめてやる〕
農業にとって大切なのは土づくりである。私の畑五ヘクタールには、毎年、北条の特約農家から稲わら五ヘクタール分がはいっている。果物や野菜の味をよくするためである。申耕もまたおろそかにしない。

また、観光客に少しでも農業を味わさないうために、果実の袋かけを怠らない。
一方、私はさまざまな生産者グループに加わり、役職をやり、協力している。地域の発展が最も大切と思うからである。

ふるさとづくり活動で 受賞!

県婦人大会

十一月十日、松山市で開かれた愛媛県婦人大会で、**肱川町婦人会**（三井芳江会長）は、心のかよふふるさとづくりを進めている活動に対して、**県教育長**、**県連合会長**から表彰を受けました。

肱川町婦人会は、会員六百十五名で、



老人クラブとの交流会

県下でも加入率は高くなっています。婦人の資質の向上をはかり、楽しい家庭と心のかよふふるさとづくり

くりの活動を積極的に進めています。
各地区での婦人学級・青少年の健全育成をめざす活動・地域の環境をよくする活動・又世代間交流や奉仕活動と幅広い活躍をされています。
今、清少年の健全育成が大きくなり上げられています。家庭教育が特に大切であり、家庭での婦人の役割が強いわれています。今後、地域婦人会の活動を通して明るい町づくり、明るい家庭づくりを進めていきたいと思います。
本当におめでとうございま

年末年始の役場業務
窓口事務は早目に



年末・年始の役場の業務は次のとおりです。

12月28日(水) 御用納め
12月29日(木) この間は
～ 休みます。

1月3日(火) 御用初め
1月4日(水)

●窓口事務(戸籍係)

○12月28日(水)は平常どおり行います。

○12月29日(木)から1月3日(火)の間は休みます。

○1月4日(水)からは平常どおり行います。

※ 印鑑証明、戸籍の謄抄本や住民票は休みの期間中は発行しませんので、必要な方はお早目にお取りください。

※ 出生・死亡・婚姻・その他の届け出は、宿日直者が受け付けますが、あらかじめ電話で内容を連絡してからお出かけください。



ご協力ください

昭和58年工業統計調査
石油等消費構造統計調査

12月31日現在で
実施

通商産業省では、右の二つの調査を十二月三十一日現在で行います。調査の対象となった事業所には、年末年始にかけて調査員が伺います。ご協力をお願いします。



●乳児健康相談

▽日時 1月23日(月)
午前1時～2時

▽場所 肱川町公民館

●創作館での健康相談

▽日時 1月27日(金)
午前9時～12時

●健康づくり料理教室

月日	場所	時間
1月17日(火)	大谷公民館	午後3時
1月18日(水)	共栄集会所	午後3時
1月24日(火)	予子林公民館	午後3時
1月26日(木)	小藪集会所	午前10時～

●不用犬回収日

▽日時 1月10日(火)

▽場所 役場(町民課)

※印鑑をご持参ください。

●へき地栄養学級

月日	場所	時間
1月13日(金)	中居谷公民館	午前10時～午後3時

●年賀状はお早目に
おそくとも12月20日まで
にお出し下さい。

1月日曜・祝日当直医

日	当直医	電話
1日(日)	前田医院 (五十崎町)	(08934)4-2859
2日(月)	松浦医院 (五十崎町)	(08934)4-2776
3日(火)	藤本医院 (五十崎町)	(08934)4-2561
8日(日)	植木医院 (五十崎町)	(08934)4-2215
15日(日)	高橋医院 (五十崎町)	(08934)4-2010
16日(月)	曾根医院 (内子町)	(08934)4-2801
22日(日)	芳我外科医院 (内子町)	(08934)4-2560
29日(日)	宝来医院 (内子町)	(08934)4-2248

相談ごと案内

●心配ごと相談

▽時間 午前9時～午後4時
▽場所 肱川町公民館
心配ごと相談室

相談日	担当相談員
1月5日(木)	福田 保
1月17日(火)	宮田 義盛 二宮 亀男
1月25日(水)	福島 春夫 山内 清勝

●行政相談

▽日時 1月5日(木)
午前9時～午後4時

▽場所 肱川町公民館
心配ごと相談室

▽相談員 福田 保委員

●農地相談

▽日時 1月25日(水)
午前9時～午後4時

▽場所 役場第3会議室
▽担当相談員 石田 保委員

☆農地関係についてお気軽にご相談ください。

お誕生おめでとう
つぎいま☆

☆☆☆☆☆
中居谷 稲田 金市さん
長女 香奈恵ちゃん
大屋敷 高尾 壽久さん
長男 俊 介ちゃん

☆☆☆☆☆
共 栄 坂 光春さん
(75歳)

大屋敷 高尾 武義さん
(71歳)

中 津 井上 モトさん
(86歳)

久 保 松本イシヨさん
(84歳)

中 野 宇都宮イチノさん
(69歳)

下嵯峨谷 宮田 キチさん
(92歳)
上森山 森田コイシさん
(85歳)
影 地 徳丸 溜さん
(76歳)